

第48回 関西言語学会
研究発表Ⅱ 6月11日(日) A会場 5 11:20-11:55

日本語学習者の添削データからみる文の使用条件に関する一考察
—名詞修飾型と動詞修飾型の「の」の不使用と過剰使用を対象に—

okunakaatsumi@gmail.com
奥中 淳未(関西学院大学大学院生)

2023/6/11 A5 奥中淳未
okunakaatsumi@gmail.com

第48回 関西言語学会

1

1

発表の流れ

1. 当該分野の状況と問題提起
2. 研究方法
3. 分析
 - 3.1 正用文を対象とした意味の相違の解明
 - 3.2 添削データを手掛かりにした使用条件の解明
 - 3.2.1 データの全体像
 - 3.2.2 不使用
 - 3.2.3 過剰使用
4. 結論
5. 今後の課題とその展望
6. 参考文献

2023/6/11 A5 奥中淳未
okunakaatsumi@gmail.com

第48回 関西言語学会

2

2

1. 当該分野の状況と問題提起

研究対象：名詞修飾型数量詞構文 [QのNC型]
動詞修飾型数量詞構文 [NCQ型] } 数量詞の意味

- (1) a. 2000ccのバイクに乗る。 属性
b. *バイクに2000cc乗る。 —

奥津(1969,1983,1996a,1996b)
加藤(1997,2003)
西山(2003)
岩田(2008)

- (2) a. 10段の階段を登る。 属性
b. 階段を10段登る。 数量

- (3) a. 3個のりんごを買う。 数量
b. りんごを3個買う。 数量

} 数量詞の意味

3

1. 当該分野の状況と問題提起

- (4) a. 3個のりんごを買う。 数量 } 同じ「数量」であれば
b. りんごを3個買う。 数量 } どのような意味の違いがあるのか？

- ・井上(1987) 定 / 不定 定名詞句が数量詞を持つ場合
- ・國廣(1980) 同種 / 異種 「2つの文字/文字を2つ」
- ・矢澤(1985) 同時量 / 達成量 「テイル」と共起している場合

例：井上(1978p.175) 定 / 不定

- (5) a. 前を走っていた二台の乗用車が捕まった。

- b. 前を走っていた乗用車が二台捕まった。

「定名詞句が数量詞を持つ場合に、数量詞の後置は意味を変える。」

4

1. 当該分野の状況と問題提起

「数量」を表す場合の「名詞修飾型」と「動詞修飾型」の数量詞の意味について

【当該分野の状況(先行研究からわかること)】

- 意味の異なりが感じられる場合と、そうではない場合が存在している。
- 意味の異なる場合にのみ焦点を当てられ、分析された研究であるため、その意味の異なりが生じる条件などにおいて統一的な解釈はされていない。

【問題提起】

「数量」を表す場合の「名詞修飾型」と「動詞修飾型」について

- ①意味が異なる場合、どのように意味が異なるのか。→意味の違いの解明
- ②どのような場合、その意味が異なるのか。→使用条件の解明

5

2. 研究方法

【研究方法について考える】

- ・名詞修飾型と動詞修飾型の「数量」における意味の違いの検討

①意味が異なる場合、どのように意味が異なるのか。

①正用文を対象とした意味の相違の解明

検証対象：日本語正用文

内省により、各型の文を比較し意味の違いを検討。

②どのような場合、その意味が異なるのか。

②添削データを手掛かりにした使用条件の解明

検証対象：日本語誤用文

学習者の誤用添削に現れる母語話者の内省から、各型の文の意味の違いを検討。

6

3. 分析 (3.1正用文を対象とした意味の相違の解明)

数量詞の意味「数量」に注目して、「数量」をさらに分析

- (6)a. 4つのヨーグルトを食べる。
b. ヨーグルトを4つ食べる。



<図1>

- (6)a. 4つのヨーグルトを食べる。(属性・数量)
→ 4つ(1セット)のヨーグルトのほうを選んで食べた
(属性/一時的属性)
→ 4つ(1セット)のヨーグルトを4つとも食べた
(属性/一時的属性)(数量/最大数)
→ 食べたヨーグルトは4つしかない(数量/最大数)
(6)b. ヨーグルトを4つ食べる
→ 食べたヨーグルトは4つ、またはそれ以上の可能性もある(数量)

7

7

3. 分析 (3.1正用文を対象とした意味の相違の解明)

数量詞の意味に注目して、「数量」と「属性」をさらに分析

- | | | | |
|------------------|-------|--------|-------------------|
| | [数量] | | [属性] |
| (7)a. 3個のりんごを買う。 | [±数量] | [+最大数] | [−恒常的属性] [+一時的属性] |
| b. りんごを3個買う。 | [+数量] | [−最大数] | [−恒常的属性] [−一時的属性] |

「数量」を表す場合において
名詞修飾型は、動詞修飾型と異なり「最大数」を表すことが出来る

①意味が異なる場合、どのように意味が異なるのか。：意味の違いの解明

→ 「数量」を表す場合において、名詞修飾型と動詞修飾型の違いは
「数量」が「最大数」を表すか否か。

8

8

3. 分析 (3.2添削データを手掛かりにした使用条件の解明)

「添削データを手掛かりにした使用条件の解明」とは？

日本語学習者の添削データには、母語話者の内省が表れている

↓
「使用条件解明の手掛かりとしての誤用データを利用」

※あくまで使用条件解明のための分析

(誤用分析の観点からの誤用分析とは異なる)

名詞修飾型と動詞修飾型の意味の違いの観点から添削データを対象に検討。

→ 「数量」の意味が異なる場合。
使用条件も異なり、「数量」を表す数量詞構文の使用の際に添削され、誤用に現れる。

→ 「数量」の意味に異なりが見られにくい場合。
文として意味の違いが少ないため、数量詞構文の使用の際に添削されず、誤用に現れない。

2023/6/11 A5 泉中澤本
okunakatsumi@gmail.com

第48回 関西立語学会

9

9

3. 分析 (3.2添削データを手掛かりにした使用条件の解明)

添削データを手掛かりにした検証の具体的手法

【使用データ】『YUKタグ付き中国語母語話者日本語学習者作文コーパス』Ver.12

→ 名詞修飾型と動詞修飾型の「数量」の意味を持つ誤用データを抽出。

- ・ 名詞修飾型<数量詞+の+名詞+格助詞>
 - ・ 動詞修飾型<数量詞+ 名詞+格助詞>
- 動詞修飾型から「かきまぜ規則」により派生したものである
水口 (2004)、影山他 (2011)「名詞+格助詞+数量詞」→「数量詞+名詞+格助詞」

<数量詞+「の」+名詞+格助詞>

数量詞と名詞の間に「の」を使用する場合：名詞修飾型

数量詞と名詞の間に「の」を使用しない場合：動詞修飾型

→ これらの誤用は名詞修飾型と動詞修飾型の誤用として捉えることが可能である。

10

10

3.2添削データを手掛かりにした使用条件の解明 (3.2.1データの全体像)

不使用と過剰使用の「数量」に関わる用例

→ 数量詞の「数量」の名詞修飾型と動詞修飾型に関わる用例

- ・ 不使用 <○→の> 28例
動詞修飾型から名詞修飾型に直された用例
- ・ 過剰使用 <の→○> 7例
名詞修飾型から動詞修飾型に直された用例

2023/6/11 A5 泉中澤本
okunakatsumi@gmail.com

第48回 関西立語学会

11

11

3.2添削データを手掛かりにした使用条件の解明 (3.2.2不使用)

不使用 = 動詞修飾型から名詞修飾型に直された用例 28例

① 定指型 このQのNP 5例

② 修飾型 ○○QのNP | Qの○○NP 7例

③ 羅列型(構文) NP, NP, NP[の/という]QのNP 16例

2023/6/11 A5 泉中澤本
okunakatsumi@gmail.com

第48回 関西立語学会

12

12

3.2添削データを手掛かりにした使用条件の解明 (3.2.2不使用)

不使用＝動詞修飾型から名詞修飾型に直された用例

①定指示型 このQのNP 5例

- (8)テレビ小説は、人々に高度成長期の日本の姿をもう一度、ひとつの家庭を通して、皆の前に表しました。この二つ<○→の>時期の事々を比べて、いったいどのような変化が起こったか。[+最大数]
- (9)そこで本稿では太宰の生涯を決定した要因を大きく二つに分け、この二つ<○→の>側面から母の「正しい愛情」を[+最大数]。[+最大数]

13

13

3.2添削データを手掛かりにした使用条件の解明 (3.2.2不使用)

不使用＝動詞修飾型から名詞修飾型に直された用例

②修飾型 ○○QのNP / Qの○○NP 7例

- (10)彼に一番重要な二人<○→の>女の人が少なくとも同時に目の前に存在している。[+最大数]
- (11)323人、約83.48%の回答者が行うアルバイトは一つだけである。二つ<○→の>アルバイトをやっている学生は全体の16.5%。[+最大数]

2023/6/11 A5 高中学者

第48回 関西立語学会

14

14

3.2添削データを手掛かりにした使用条件の解明 (3.2.2不使用)

不使用＝動詞修飾型から名詞修飾型に直された用例

③羅列型(構文) NP, NP, NP[の/という]QのNP 16例

- (12)以上は簡単な会話を例として、会話の構造、挿入発話連続、優先組織の三つ<○→の>視点から会話構造を分析してみたが理解の程度の問題で間違った所が[+最大数]。[+最大数]
- (13)即存林は供給、需要、整合という三つ<○→の>政策を実施すれば、大學生の就職問題が解決する可[+最大数]。[+最大数]

15

15

3.2添削データを手掛かりにした使用条件の解明 (3.2.2不使用まとめ)

不使用＝動詞修飾型から名詞修飾型に直された用例

①定指示型 このQのNP 5例

②修飾型 ○○QのNP / Qの○○NP 7例

③羅列型(構文) NP, NP, NP[の/という]QのNP 16例

①②③共通して数量詞の「数量」は「最大数」を表している

文中での数量詞について言及があり、数量を数えるというよりは、それをひとまとまりにして示したり、情報を付加したりしている場合は名詞修飾型を使用しなければならない。

2023/6/11 A5 高中学者

第48回 関西立語学会

16

16

3.2添削データを手掛かりにした使用条件の解明 (3.2.3過剰使用)

過剰使用＝名詞修飾型から動詞修飾型に直された用例

→名詞の「数量」を数えているものは誤用として出現していない
→動詞の動作の数量に関わる誤用が出現

①動作の回数を数えるパターン 4例

②動作の時間をはかるパターン 3例

2023/6/11 A5 高中学者

第48回 関西立語学会

17

17

3.2添削データを手掛かりにした使用条件の解明 (3.2.3過剰使用)

過剰使用＝名詞修飾型から動詞修飾型に直された用例

→名詞の「数量」を数えているものは誤用として出現していない
→動詞の動作の数量に関わる誤用が出現

①動作の回数を数えるパターン 4例

- (14)今回も私1人だけでも15皿ぐらい食べたとおもう。なぜまだ覚えているかというと、3回<○→の>ゲームをやったから。一回も当たったことはなかったが。[+最大数]

- (15)面接のことを学んだとき、一番ショックだったのはお辞儀をする回数です。一人一回の面接を受けるとき、五回<○→の>お辞儀をしなければなりません。(学部3年生) [最少数] [最大数]

18

18

3.2添削データを手掛かりにした使用条件の解明 (3.2.3過剰使用)

過剰使用＝名詞修飾型から動詞修飾型に直された用例

- 名詞の「数量」を数えているものは誤用として出現していない
- 動詞の動作の数量に関わる誤用が出現

②動作の時間をはかるパターン 3例

- (16)「あいいうえお」から4年間<の→○>日本語を勉強してきた。
4月日本へ留学する予定で、勉強した時間の長さ [-最大数] ってくる。
(学部4年生(上)/学習)
- (17)その後、忘年会のリハーサルで、4.0分ぐらい<の→○>バスに乗り、旧キャンパスへ行っが、乗車した時間の長さ [-最大数] 時間だから、もう行かなくていいよ。」と言われた。(学部5年生/学習歴2年半/滞日0年/作文)

2023/6/11 AS 奥中淳夫

第48回 関西立語学会

19

19

3.2添削データを手掛かりにした使用条件の解明 (3.2.3過剰使用まとめ)

過剰使用＝名詞修飾型から動詞修飾型に直された用例

- 名詞の「数量」を数えているものは誤用として出現していない
- 動詞の動作の数量に関わる誤用が出現

①動作の回数を数えるパターン 4例
②動作の時間をはかるパターン 3例

①②共通して数量詞の「数量」は「最大数」を表さない

→文中での数量詞は、その数量を数えたりはかったりしている。ただし、それをひとまとまりにして示したり、情報を付加したりする機能は動詞修飾型の場合はない

第48回 関西立語学会

20

20

3.2添削データを手掛かりにした使用条件の解明まとめ

不使用と過剰使用の「数量」に関わる用例

動詞修飾型から名詞修飾型に直された用例：不使用 <○→>28例

【名詞修飾型】

- ・「最大数」を表す
- ・ひとまとまりにして示す、情報を付加する役割(同位語)

名詞修飾型から動詞修飾型に直された用例：過剰使用<の→○>7例

【動詞修飾型】

- ・「最大数」を表すわけではない
- ・回数や時間など「数量」を数えたりはかったりすることに注目

2023/6/11 AS 奥中淳夫

第48回 関西立語学会

21

21

4. 結論 名詞修飾型と動詞修飾型の意味の違いと使用条件

①意味の違い 「数量」の意味が異なる場合、どのように意味が異なるのか。

名詞修飾型は「最大数」を表す

動詞修飾型は「最大数」を表すわけではない

②使用条件 どのような場合、その意味が異なるのか。

- ・名詞修飾型は、文中で数量詞の前または後に言及する内容が示されており、それをひとまとまりにして示したり、情報を付加する役割が求められている際に使用される。
- ・動詞修飾型は、数量を数えたりはかったりする役割が求められている際に使用される。

第48回 関西立語学会

22

22

5. 今後の課題とその展望

名詞修飾型と動詞修飾型の「数量」を表す場合における意味の違いと使用条件について考察を行った

- ・名詞修飾型の数量詞には、先行研究で「数量」を表すとされているものでも名詞の「属性」を表すことができる用法が存在している

- (18)4つのヨーグルトを買う。
(19)4つのヨーグルトを5箱買う。

今後は「属性」「数量」両方に焦点を当てて、その条件について考察したい

2023/6/11 AS 奥中淳夫

第48回 関西立語学会

23

23

6. 参考文献

- ・井上和子(1978)『日英対照 日本語の文法規則』,大修館書店。
- ・岩田一成(2008)「属性Qと日本語助数詞の体系」『日本語文法』8-1, pp. 68-84。
- ・奥津敬一郎(1969)「数量的表現の文法」『日本語教育』14, pp. 42-60。(奥津敬一郎(1996c)『拾遺 日本文法論』ひつじ書房。に収録される論文を使用。ページ数もそれに従う)。
- ・奥津敬一郎(1983)「数量詞移動再論」『人文学報』160, pp. 1-24。(奥津敬一郎(1996c)『拾遺 日本文法論』ひつじ書房。に収録される論文を使用。ページ数もそれに従う)。
- ・奥津敬一郎(1996a)「連体形連用? 第4回 数量詞移動 その一」『日本語学』15-1, pp. 95-105。
- ・奥津敬一郎(1996b)「連体形連用? 第4回 数量詞移動 その二」『日本語学』15-2, pp. 95-105。
- ・加藤広重(1997)「日本語の連体数量詞と遊離数量詞の分析」『富山大学人文学部紀要』pp. 31-64
- ・加藤広重(2003)『日本語連体修飾構造の語用論研究』,ひつじ書房
- ・國廣哲弥(1980)『総説 日英語比較講座 第二巻 文法』,大修館書店。
- ・西山佑司(2003)『日本語名詞句の意味論と語用論-指示的名詞句と非指示的名詞句-』,ひつじ書房
- ・日本語記述文法研究会(編)(2009)『現代日本語文法2』,くろしお出版。
- ・矢澤真実(1985)「連用修飾成分の位置に出現する数量詞について」『学習院女子短期大学紀要』pp. 96-112。

2023/6/11 AS 奥中淳夫

第48回 関西立語学会

24

24